



お正月遊び

あけましておめでとうございます。

令和7年がスタートしました。今年巳年です。巳年のイメージは、脱皮をする蛇から「復活と再生」を意味し、新しいことが始まる年になると言われています。保護者の皆様にとって素敵な一年でありますよう祈念いたします。

ところで、冬休みはいかがお過ごしだったでしょうか。年末は家族で大掃除をしたり、年始は初詣に出かけたり、家庭によってはゆっくり過ごせなかったかもしれません。

しかしながら、お子さんにとっては、家族と一緒に過ごせたことで、家族の一員という自覚をもつことができたのではないのでしょうか。家庭によっては「簡単なお手伝い」をお子さんにさせていると聞きました。家族の一員としての自覚を育むよい取組ですので、継続していただければ幸いです。

新しいことが始まると言えば年長児です。4月からは小学校生活ですね。また、どの子も一つ上の学級へ進み、担任の先生や友達と新しいことに挑戦していきます。子どもたちにとって素敵な一年になるよう職員一同、精一杯取り組んでまいります。



話は変わりますが、私が子どもの頃のお正月遊びといえば、凧あげやこま回し、福笑い、カルタ、羽根つきなど、家族や近所の友達と行ったものです。しかし、今はまったく見かけなくなりました。ひょっとして保護者の方のなかにも「やったことがない」という人もいるかもしれません。

こうしたことから、本園では子どもの発達に応じたお正月遊びに触れていきたいと考えております。お正月遊びは、実は子どもの発達にとってよいことばかりなのです。こま回しを例にすると、こまを回す力加減が大切になります。勢いよく回



こま遊びをする年少児

すためには、大きな力を加える必要があります。握り方や腕の振り方を試行錯誤することで創意工夫をはじめ、調整能力も鍛えられます。

一方、カルタですと、反応や記憶、空間把握のトレーニングになります。カルタは一人で遊ぶものではないので、コミュニケーション能力も高まります。

お正月遊びは、いつも子どもたちが遊んでいるものとは一味違う面白さや新鮮さがあります。小さなころから日本の伝統文化に触れることで、日本に伝わる行事の意味や歴史を知ることにもつながります。ぜひ時間がございましたら、お子さんと一緒に昔の遊びに触れていただければ幸いです。

